授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名) 保育の身体表現Ⅲ		授業の種類 (講義・ 演習 ・ 実習)		授業担当者 柳田 真理子 伊藤 彩	当該科目に関する実務経験 保育士 幼稚園教諭
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (1 単位)	配当学年・時期 2 年・前期	必修・選択 必修		
[授業の目的・ねらい] ・ 保育の身体表現Ⅱでの学びを踏まえ、現場での保育を見据えた演習を通して、身体表現活動を展開していくための実践力を身に付ける。					
[授業全体の内容の概要] ・ 子どもの身体表現活動の指導について学ぶ。幼児の年齢別の発達の特徴について理解し、幼児の活動を援助する為に必要な基礎技術を身につける。また学生自身が表現遊びの計画・実践・評価ができるような参加型の授業として進める。					
[授業終了時の達成課題 (到達目標)] ・ 演習を通して、学生 (自分) 自身が表現遊びの楽しさを味わい、子どもの目線に立った保育の展開を考えることができる。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1 行事や普段の遊びに活用できる身体表現、踊り (0・1 歳児) 2 (2 歳児) 3 (3 歳児) 4 (4 歳児) 5 (5 歳児) 6 和物の踊り 7 親子・ペアの踊り 8 運動・体育遊び 9 様々な道具を使ったサーキット遊び等 10 // 11 // 12 ゲーム遊び 13 簡単なルールのある遊び等 14 // 15 期末試験					
[使用テキスト・参考文献] ・ 必要に応じて参考プリント配布					
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点 (75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記及び実技試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点 (25%) ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。					